

事業の名称：SNS と新たな拠点（交流センター）を活用した地域の担い手発掘事業

団体名	加茂まちづくり協議会	事業費	216,992円
代表者	会長 舟木 清	補助金交付額	200,000円

現状と課題

令和2年度の「地域経営カレッジ」を契機に、令和3年度から「カモンスちゃんねる」として活動を始め、主に SNS を活用し、加茂の事業所紹介や加茂の魅力を発信してきた。

令和3年度に策定した「加茂地区計画（骨子）」においても、“地域づくりサポーターの確保”“地域の発信力の強化”“他団体との連携”が盛り込まれた。それらの課題に、実効ある取組活動が不可欠である。

事業の目的

SNS の充実、WEB（ホームページ）の運用を通し、若者等への情報発信により、加茂の魅力発見や加茂まちづくり協議会の活動参画へのきっかけを作る。

また、サポーター、フォロワー、関係者等とのコラボ企画を通し、新たな拠点（交流センター）の利活用促進を図るとともに、次世代を担う人材育成に努める。

実施内容

◇実施状況

① SNS、WEB の運用

- ・ ホームページの構築
- ・ フェイスブック、インスタグラム、ツイッター、ユーチューブへの投稿(カモンスちゃんねる)
- ・ 地区計画「加茂まちづくり計画」のホームページ、SNS への掲載

② 発信事項の取材

- ・ ミニライブとコーヒー販売イベント
- ・ 観音祭
- ・ 木工体験イベント
- ・ 中央公園遊具リニューアル
- ・ 地域おせっかい会議:加茂中駅飾りつけ
- ・ 写真スキルアップ勉強会
- ・ セタライブラリーライブ
- ・ キラキラ雲南:ラメール木工体験
- ・ 加茂よっといで祭り
- ・ クリスマスライブ・マルシェ&ガンブラワークショップ
- ・ 「ママじかん and お父さんと一緒」みんなでクリスマス
- ・ 加茂町人権セミナー
- ・ 事業所紹介(加茂図書館、飲食店)
- ・ カモンス図鑑
- ・ 加茂の原風景



③ 動画撮影機材の購入

- ・ 動画カメラ(GoPro)
- ・ 動画編集ソフト(ビデオスタジオ)



④ スキルアップ研修

- ・ 映える写真の撮り方勉強会(R4.7.2 参加者 8 人)
- ・ 動画編集勉強会(R5.1.29 参加者 9 人)
- ・ SNS 勉強会(R5.3.10 参加者 16 人)

⑤ 関係団体とのコラボ企画

- ・ 加茂にカモン! 新交流センターでミニライブ(R4.4.10)
- ・ 新交流センターで木工体験をしよう!(R4.5.28)
- ・ 加茂にカモン! クリスマスライブ・マルシェ(R4.12.24)
- ・ 「ママじかん and お父さんと一緒」みんなでクリスマス(R4.12.25)

◇成果と課題

① SNS、WEB の運用

- ・ SNS への投稿と、ホームページに SNS とリンクしたコーナーを構築し、効果的な加茂の魅力発信に努め、フォロワーの増を図った。

フォロワー数 R4 年 1 月 R5 年 3 月

Instagram : 184 人 → 280 人

Twitter : 72 人 → 92 人

- ・ 地区計画を各 SNS 及びホームページに掲載し、周知に努めた。
- ・ 今後は、さらに投稿の充実を図り、フォロワーの増につなげていきたい。
- ・ また、リンク先を関係団体や事業所に広げ、情報発信を強化する。

② 発信事項の取材

- ・ カモンメンバー及び大学生、高校生のサポーター等の協力のもと、事業所紹介、関係団体とのコラボ企画などの取材を行った。
- ・ 取材の頻度、人材の確保に努めていきたい。

③ 動画撮影機材の購入

- ・ これまで個人の撮影機材に頼っていたが、まちづくり協議会でも動画カメラを所有することにより、取材の機会が増えた。
- ・ イベントなどの模様をケーブルテレビにも投稿することにより、市民への周知が広がった。

④ スキルアップ研修

- ・ 魅力ある写真、動画の撮り方、SNS の投稿の仕方などを学び、技術の向上につながった。
- ・ SNS 勉強会は、市内の地域自主組織や関係団体への声かけを行い、町外からの参加者もあり、地区計画や活動の PR にもつながった。
- ・ 限られた参加人員だったが、スキルの普及と実践につなげていきたい。

⑤ 関係団体とのコラボ企画

- ・ 新交流センターを使ってのお試し企画、オリジナルイベント、ミニライブ、出店、親子活動などをとおして、地域住民とのふれあい、連携が図れた。
- ・ 交流センターが、自分(住民)のやりたいことを実現させられる場であるという意識を持ってもらうことが出来た。

⑥ 全般をとおして

- ・ コロナ禍で制限された中での取り組みであったが、感染予防対策を施して活動が出来た。
- ・ 新交流センターの利活用については、コラボ企画をとおして住民に定着させる一役を担うことが出来た。
- ・ 次世代を担う人材の発掘、育成の観点では、従来の「カモンスちゃんねる」をはじめ、元地区計画策定委員による実働部隊、現役世代が中心の市民グループなど、今後も活躍が期待される人材確保に一定の効果があったと思われる。
- ・ 成果が現れるには、中長期的な視点で見ていく必要があり、息の長い活動が求められる。